

日立市議会 だより

No. 210
R1.7.20

全ページがフルカラーになりました!

第2回 定例会

6/12~6/27



【主な内容】

- 提出議案等の議決結果一覧 …………… 2面
- 議案紹介 …………… 3面
(イトーヨーカドー日立店内に「屋内型子どもの遊び場」が整備されます)
- 会派代表質問(4名が登壇) …………… 7面
- 一般質問(10名が登壇) …………… 11面

6月定例会では、12日に小川市長の所信表明が行われ、17日には会派を代表した議員が、市長の所信表明や予算編成方針などに対して質問を行いました。



発行：日立市議会
〒317-8601 茨城県日立市助川町1-1-1
☎0294-22-3111(内線371、372)
IP電話 050-5528-5113(直通)
E-mail gikai@city.hitachi.lg.jp

編集：議会報編集委員会
委員長／茅根 茂彦 副委員長／伊藤 健也
委員／照山 晃央 助川 悟
篠田 砂江子 伊藤 智毅

提出議案等の議決結果一覧

【議案】

※常任委員会：総務産業委員会、教育福祉委員会、環境建設委員会

| 番号 | 議案名 | 付託委員会 | 議決結果 | |
|----|--|---------|------|------|
| 38 | 令和元年度日立市一般会計補正予算（第1号） | 全常任委員会 | 原案可決 | |
| 39 | 令和元年度日立市水道事業会計補正予算（第1号） | 環境建設委員会 | | |
| 40 | 市長等の給料の特例に関する条例の制定について | 総務産業委員会 | | |
| 41 | 日立市屋内型子どもの遊び場の設置及び管理に関する条例の制定について | 総務産業委員会 | | |
| 42 | 日立市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 総務産業委員会 | | |
| 43 | 日立市職員退職年金条例の一部を改正する条例の制定について | 総務産業委員会 | | |
| 44 | 日立市霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 環境建設委員会 | | |
| 45 | 日立市建築基準条例及び日立市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 環境建設委員会 | | |
| 46 | 日立市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について | 総務産業委員会 | | |
| 47 | 本庁舎北・西側ひさし建設工事の請負契約の締結について | 総務産業委員会 | | |
| 48 | 市道路線の廃止及び認定について | 環境建設委員会 | | |
| 49 | 日立市副市長選任の同意を求めることについて | 〔付託省略〕 | | 選任同意 |
| 50 | 日立市教育委員会委員任命の同意を求めることについて | 〔付託省略〕 | | 任命同意 |
| 51 | 日立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて | 〔付託省略〕 | | 選任同意 |

下記の報告がありました

| 番号 | 案件名 |
|----|-------------------------------------|
| 6 | 平成30年度日立市継続費繰越しについて |
| 7 | 平成30年度日立市繰越明許費繰越しについて |
| 8 | 平成30年度日立市事故繰越しについて |
| 9 | 平成30年度日立市水道事業会計及び下水道事業会計予算繰越しについて |
| 10 | 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて） |
| 11 | 専決処分について（損害賠償の額を定めることについて） |
| 12 | 日立市土地開発公社に係る令和元年度の経営状況に関する説明書提出について |

○ 議員の賛否 ●

【議案】 賛成：○ 反対：● 除斥：除 欠席：欠

※「除斥」とは、議会での審議を公正なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係がある議員をその審議のときに議場から退席させることです。

※日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できることになっており、議会日よりでは3人未満の場合は「無会派」と表示しています。

※議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

| 番号 | 日立市政クラブ | | | | | 民主クラブ | | | | | 公明党 | | | | ひたち未来 | | 無会派 | | | | | | | | | | | | | |
|----|---------|------|------|------|------|------------------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|-------|---|---|
| | 藤森結花 | 杉本和子 | 照山晃央 | 瀬谷幸伸 | 今野幸樹 | 茅根茂彦 | 蛭田三雄 | 飛田謙一 | 佐藤三夫 | 堀江紀和 | 豊田茂 | 助川悟 | 粕谷圭 | 白石敦 | 吉田修一 | 伊藤健也 | 青木俊一 | 添田絹代 | 篠田砂江子 | 下山田幹子 | 三代勝也 | 舘野清道 | 石井仁志 | 伊藤智毅 | 白土仙三郎 | 永山堯康 | 千葉達夫 | 小林真美子 | | |
| 38 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長は採決に 加わりません | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 39 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 40 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 41 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 42 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 43 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 44 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 45 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 46 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 47 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 48 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 49 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 50 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 51 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

議案紹介

議案第41号 日立市屋内型子どもの遊び場の設置及び管理に関する条例

子どもが遊び、子ども及びその保護者が交流する施設として屋内型の遊び場を設置し、子育て環境の充実を図りながら、まちのにぎわいづくりに寄与するため条例が制定されました。



完成イメージパース

利用開始は
10月1日以降
の予定です。

- 名称** 日立市屋内型子どもの遊び場
- 場所** イトーヨーカドー日立店4階内
- 施設** あそび・まなびエリア
子育てサポートエリア
- 事業内容** 児童を対象とする遊び場の提供
児童及びその保護者が集い、交流する場の提供
子育てに関する情報の提供
- 使用料** あそび・まなびエリア
児童 1人1回 100円
児童以外 1人1回 200円



提出議案の説明を行う小川市長

第2回

定例会

6/12~6/27

委員会審査の結果

常任委員会・特別委員会で、議案などを専門的かつ能率的に審査しました。

総務産業委員会

議案7件（補正予算1件、条例5件、契約1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

◇審査した主な議案

▼令和元年度一般会計補正予算

〈歳入は、プレミアム付商品券の販売対象者拡充に伴う国庫補助金の増額、未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付事業実施に伴う国庫補助金の計上、民間事業者における介護療養型医療施設から介護医療院への転換整備や、地域密着型サービス施設等の整備に対する県補助金の計上など。〉

歳出は、国の交付金の採択を受けたことに伴う日高漁港の維持管理計画策定経費、市内の空き店舗等を活用した新たな出店に対して経費の一部を補助する商店街活性化事業費の増額、東京圏から本市へ移住し、中小企業に就職した場合に移住支援金を交付する中小企業支援対策事業費の計上など

【要望】

○まちなか空き店舗活用事業について、関係部署との連携を図りながら空き家を積極的に活用するとともに、様々な広報媒体を利用して、出店した店舗の情報を広く市民に提供するなど、更なる商店街の活性化に向けて取り組まれない。

▼市長等の給料の特例に関する条例の制定

〈令和5年4月30日までの間、市長、副市長、教育長、監査委員、公営企業管理者の給料月額を減額する〉

▼日立市屋内型子ども遊び場の設置及び管理に関する条例の制定

〈子育て環境の充実を図り、まちなかにぎわいづくりに寄与するため、子どもが遊び、子ども及びその保護者が交流する施設を設置する〉

【主な意見・質疑】

「意見」駅前に子ども遊び場ができることで、まちなかにぎわいにつながることを期待できる。利用者のニーズに応えながら、安全で安心できる管理に努めてほしい。



イトーヨーカドー4階に「子どもの遊び場」が整備されます

▼日立市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

〈国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、選挙長、投票立会人等の報酬の額を改める〉

▼日立市職員退職年金条例の一部を改正する条例の制定

〈関係政令等の改正に伴い、通算退職年金の額の算定に係る規定を改める〉

▼日立市火災予防条例の一部を改正する条例の制定

〈住宅用防災警報器等の設置免除に係る規定を改める〉

▼本庁舎北・西側ひさし建設工事の請負契約の締結

〈完成の期限を令和2年3月31日として、株式会社竹中工務店東関東支店と契約〉

教育福祉委員会

議案1件（補正予算1件）を審査し、原案を認めました。

◇審査した議案

▼令和元年度一般会計補正予算

〈豊浦小学校校舎改築事業について、国の補助採択見込みに伴う太陽光発電設備設置工事請負費の増額、国の制度として実施される幼児教育・保育の無償化に関する経費、市単独事業として行う3歳未

満児第2子の保育料の無償化に係る経費、民間事業者が行う介護医療院、認知症高齢者グループホームなど地域密着型サービス施設の整備に対する補助、日高小学校校舎改築工事に伴う代替運動場の整備に係る経費、十王スポーツ広場自由広場における防球ネットの設置に係る経費の計上など」



日高小学校の仮設グラウンドとして整備される企業用地 (写真左)

【主な意見・質疑】

『意見』日高小学校の校舎改築に伴い、児童が市道を横断して仮設グラウンドまで移動するに当たっては、教職員による引率や、路面標示の設置などの対策が講じられるとのことだが、付近で行われている工事関係車両などの通行が見られることから、更なる安全対策

について徹底してほしい。

『質問』無償化により保育園入園者の増加が想定されるが、保育士確保など、体制強化を図るのか。

『答弁』保育士の処遇改善や潜在保育士を対象とした復職講座の開催など、保育士の確保に努めている。

環境建設委員会

議案5件（補正予算2件、条例2件、その他1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

◇審査した主な議案

◆令和元年度一般会計補正予算

《国の交付金の採択を受け、日立シビックセンター科学館の整備を進めるひたちの科学を軸としたまちの賑わい創出事業費、一般財団法人自治総合センターが実施する助成事業を活用した油縄子学区コミュニティ推進会の音響機器整備に対する補助の計上。合葬式墓地に係る霊園使用料の日立鞍掛山霊園管理基金への積立て、市内小売業者から寄附されたレジ袋販売収益金の環境教育基金への積立て》

【要望】

○日立シビックセンター科学館の整備期間中における科学館利用者の動線の確保など、来館者の安全確保を最優先させるとともに、事業に遅れが生じることのないよう、円滑な推進に努められたい。

◆令和元年度水道事業会計補正予算

《送水管更新工事繰越しに伴う企業債利息を収益的支出から資本的支出に計上替え》

◆日立市霊園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

《日立鞍掛山霊園に設ける合葬式墓地の管理に関し、必要な事項を定める》

◆市道路線の廃止及び認定

《道路改良に伴う河原町3丁目地内2路線の廃止及び認定》



市道路線の現地調査を行う委員 (河原町)

◆日立市建築基準条例及び日立市手数料条例の一部を改正する条例の制定

《建築基準法の改正に伴い、関係規定を改める。建築基準条例につ

いては、特別支援学校の内装材の制限に係る規定の削除など。手数料条例については、建築物の用途変更に係る許可申請手数料を定めるなど」

【主な意見・質疑】

『質問』内装材の制限について、木材利用の推進という観点からの規制緩和であるならば、専修学校等についても緩和可能ではないのか。

『答弁』専修学校等は夜間の利用が想定され、万が一の火災発生時に周辺住民の避難に支障を来すため、特別支援学校のみ制限を解除する。

令和元年度一般会計補正予算の概要

■一般会計

7億678万9千円を増額補正
(予算総額 724億4478万9千円)

人事案件

◆日立市副市長の選任に同意

梶山隆範氏

◆日立市教育委員会委員の任命に同意

朝日華子氏

◆日立市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

北見喜隆氏
泉 有氏
藤 英雄氏

議案質疑

議案質疑とは、提案された議案等（2面に掲載）に対して、疑問点や不明確な点などを執行部に聞くことです。6月定例会では、4人の議員が6月20日に議案質疑を行いました。その質問と答弁を要約して、一部を掲載しています。

議案第38号

令和元年度一般会計補正予算

幼児教育・保育の無償化の概要

議員 国が実施する幼児教育・保育の無償化及び副食費の実費徴収について、また、市が独自に取り組む無償化の概要について伺いたい。

保健福祉部長 国が消費税率引上げに併せて実施する幼児教育・保育の無償化のうち、保育園、認定こども園及び幼稚園について、3歳児から5歳児までは、世帯の所得にかかわらず、一律に無償化される。また、0歳児から2歳児については、住民税非課税世帯を対象に無償化される。ただし、行事や送迎バスの費用等



あっと驚く実験で子どもたちの目を輝かせるサイエンスショー

は無償化の対象外となる。現在、保育料の一部として徴収している給食の副食費（おかず代）も実費徴収となるが、世帯年収が約360万円未満の世帯の子と、世帯年収にかかわらず第3子以降の子は免除となる。

市独自の取組については、国の制度の対象とならない0歳児から2歳児の保育園及び認定こども園の利用者のうち、第2子の保育料を無償化するものである。

日立ビックセンター科学館の再整備

議員 本事業の今後のスケジュールと、休館中にサイエンスショーなどを開催するのか伺いたい。

生活環境部長 本事業は、国の交

付金を活用し、今年度から2ヶ年をかけて実施するもので、今年度は12月末を目的に実施設計をまとめ、令和2年1月から3月にかけて、地下1階と1階の整備を行う。令和2年度は、科学館のメイン施設である8階と9階の整備を実施する予定である。科学館は大規模な整備を行うため、長期間の休館が必要となる。

この期間中には、人気のサイエンスショーなどのソフト事業を出前方式で行うなど、科学館の魅力をPRするとともに、再整備後の新たな科学館の運営に備えていく。

空き店舗と空き家を活用したまちなかの活性化

議員 空き店舗を活用して出店する場合に経費の一部を補助する本事業の実績と、補助の対象に空き家を加える背景と期待される効果、対象となる範囲について伺いたい。

産業経済部長 本事業は平成29年度から実施しており、初年度は5件（飲食業3件、小売業2件）、平成30年度は10件（飲食業8件、小売業・理容業各1件）であった。

昨年度に空き家を活用した新規出店の相談があり、商業機能の充実を図るといふ事業目的に合致することから、空き家を対象に加えた。その効果として、商業機能の再生やにぎわいの創出とともに、店舗を併用した住宅への改築も想定され、移住支援や空き家対策としても期待できる。

補助対象の範囲は、店舗部分に係る改装や設備購入などの初期投資の一部を対象とする。また、店舗の改装面積が空き家の半分以下であり、かつ居住する場合は、空き家利活用促進事業補助金との併用を認め、最大で130万円の補助を受けることが可能である。

議案第41号

屋内型子どもの遊び場の整備

議員 施設整備にはどの事業者が選定されたのか。また、「子育てサポートエリア」で行われる事業のほか、条例に規定されている「市長が必要と認める事業」として想定される内容について伺いたい。

産業経済部長 施設整備の事業者は、全国的に多くの実績がある「株式会社ポーンランド」に決定した。

「子育てサポートエリア」では、子育て世代を対象とする育児や食育などに関する相談会のほか、「あそび・まなびエリア」と一体的に使用し、中学生や高校生などが楽しめるイベントや、大型商業施設及び近隣商店街などと連携した取組を想定している。また、「市長が必要と認める事業」としては、乳幼児を対象とした午睡ゾーンや遊びスペースのほか、一時預かりサービスの提供や誕生日の子どもの招待、商店街による商品づくりの実演など、子育ての支援及び商店街等の活性化につながるような取組が想定される。

全質問項目

- [1] 次期総合戦略の策定について
- [2] 新たな賑わいづくりの取組について
 - ①ジャイアントパンダの誘致について
 - ②まちの歴史を象徴する「さくら」について
- [3] 茨城港日立港区周辺に産業の集積を図ることについて
- [4] まちの将来発展を支える「都市力の向上」について
 - ①幹線道路の整備促進について

- ②ひたちBRTを基軸としたまちづくりについて
- [5] 地域周産期母子医療センターの展望について
- [6] 人生100年時代を見据えた「超高齢社会への対応」について
 - ①2025年問題を見据えた体制づくりについて
 - ②健康寿命の延伸について
- [7] 児童虐待の対応について

会派代表質問
日立市政クラブ

佐藤 三夫 (代表)
茅根 茂彦 蛭田 三雄
飛田 謙一 今野 幸樹
瀬谷 幸伸 杉本 和子
藤森 結花 照山 晃央

質問は、蛭田三雄議員が行いました。

ジャイアントパンダの誘致

議員 県知事の定例記者会見において、かみね動物園にジャイアントパンダを誘致する施策が発表されたが、本市のこれまでの取組状況や今後の誘致に向けた取組について、見解を伺いたい。

市長 誘致に向けたこれまでの取組として、県と本市による勉強会の開催のほか、飼育方法等に関する現地調査、駐日大使との面会や外務省への訪問など県と連携を密にし、誘致に向けて活動している。

今後の取組については、想定される課題解決のため関係機関・団体とのより一層の協力的体制が必要となることから、県の主導により、ジャイアントパンダ誘致に関する協議会を6月末に設置する予定である。

誘致に当たっては、飼育環境の整備や駐車場の確保などハードルは非常に高く年数も要する取組であると認識しているが、絶滅危惧種のクロサイなどの繁殖実績や同じクマ科のツキノワグマの飼育経験もあることから、全ての世代の方々に夢や希望を与えられるよう、誘致について積極果敢にチャレンジしていきたいと考えている。

茨城港日立港区周辺の産業集積

産業集積

議員 日立港区には、現在2基目

のLNG貯蔵タンクが建設中である。新たに天然ガス火力発電所を誘致することで雇用の創出につながると考えるが、見解を伺いたい。

市長 現在、第5ふ頭地区においては、令和2年度末の完成を目標に2基目となるLNGタンクの建設が行われているほか、日立LNG基地と神栖市をつなぐ高圧ガスパイプライン「茨城幹線」が完成する予定であり、北関東の新たなエネルギー供給拠点として発展を続けている。

天然ガス火力発電所については、太陽光発電や風力発電を始めとする再生可能エネルギーの拡大など発電事業を取り巻く状況が大きく変化しており、発電所の新設に当たっての課題や不確定要素が多く残っている状況である。

発電所の誘致は、雇用の確保や税収の増加など日立港区周辺における新たな産業集積の拠点インフラになることが期待できるため、東京ガスの方針などを踏まえつつ、県と連携しながら地元住民や関連企業・団体の理解を得るなどして取り組んでいく。

ひたちBRTを基軸としたまちづくり

まちづくり

議員 今年度で、日立おさかなセンターから常陸多賀駅までの工事が完了し、引き続き日立駅までの第Ⅲ期区間の検討に入るとのことであるが、その実現に向けた決意を伺いたい。



定時性と速達性に優れているひたちBRT

市長 BRT最大の利点は運行の定時制と速達性であり、これを確保するためには、専用道路やバス専用レーンなどの走行空間が必要となる。これまでの区間は、旧日立電鉄線の軌道跡地を活用し整備してきたが、第Ⅲ期の整備区間においては、旧河原子駅から旧鮎川駅までの2・5kmに限られ、日立駅まではなお約3kmの距離がある。

市民の利便性を重視すれば、通勤・通学客が想定される工場や学校、さらには医療機関などへのアクセスが容易なルートを選定することが効果的と考えており、今後、日立駅周辺までの運行実現に向け実効性の高いルートを選定し、計画的な事業の実現を図っていく。

全質問項目

[1] 市長所信表明について

- ①市長が描くまちづくりの実現のために
- ②産業振興について
- ③教育施策について
- ④持続可能なまちづくりについて

[2] 財政政策について

- ①地方債の活用について
- ②市税の減収対策について

[3] 官民連携によるまちづくりについて

- ①中心市街地再開発の促進について
- ②山側住宅団地再生モデル事業について

[4] 市民協働のまちづくりについて

- ①まちづくり講座について
- ②「きれいなまち ひたち」を目指して

会派代表質問
民主クラブ

青木 俊一（代表）
伊藤 健也 吉田 修一
白石 敦 粕谷 圭
助川 悟 豊田 茂
堀江 紀和

質問は、吉田修一議員が行いました。

産業振興策に対する
市長の考え

議員 今秋のプレミアム付商品券事業については、本市独自に対象を広げることでも地域の消費喚起を図ることができると考える。また、市長が「進化する産業都市」を目指す上で、人材の育成・確保、先端技術の活用などについての見解を伺いたい。

市長 プレミアム付商品券事業は、消費税増税の影響緩和を目的としているが、地域経済にも効果が波及するように多くの商店等に協力していただき、取組を成功させたいと考えている。市独自事業の実施については、増税後の経済情勢が不透明であることから、今回の国の事業の実施状況や効果を検証し、事業化の可能性について検討していきたい。

本市では、中小企業を支える人づくりや、生きがいを持って働くことのできる環境づくりの支援を進めるなど、多様な人材の確保に向けた取組を展開している。今後は、AIやIoTなどの先端技術を駆使し、生産性や品質の向上を図る高度技術者を育成するとともに、先端設備の導入や特許技術の取得などの支援も進め、中小企業の新たなチャレンジを切れ目なく支援していく。

官民連携による

中心市街地再開発の促進

議員 日立駅自由通路の延長によ



日立駅を中心としたにぎわいの創出が期待される

る出店スペースの確保や、駅東西にある商店街などの特色をいかした事業者の誘致など、外部人材の招へいを含めた官民連携による中心市街地再開発に対する見解を伺いたい。

副市長 自由通路の延長は、駅東西の回遊性向上などに有効であると考えるが、駅舎が特殊な構造であることや、交通広場及び海側のがけ地への影響などについて検討する必要があるため、現在の施設の更なる利活用について調査研究をしていく。

駅東西エリアの特色の活用については、人の流れ、お金の流れを活性化させる有効な手段と考えられるため、土地利用計画の推進と併せて、民間活力を積極的に誘導する施策を検討していく。

まちのにぎわいを生み出すためには、ハード面の整備に加えて、官民連携のエリアマネジメント手法の導

入が有効であるため、都市経営の視点を持ちながら、日立駅周辺の更なるにぎわい創出に向けた取組を進めていく。

官民連携による

山側住宅団地の再生

議員 山側団地再生プロジェクトの一環である山の神団地（西成沢町一丁目）の再生では、子育て世代向けの広々とした空間の整備や、高齢者が趣味を楽しみながら暮らせるリタイヤメント・ビレッジ構想などが、官民連携による先進モデル事業の推進を提案するが、見解を伺いたい。

副市長 山の神団地は、国道6号や商業・医療施設などに近接しているほか、企業の社員寮跡地に隣接していることから、民間活力の導入による効果的なりノベーションを検討するためにモデル団地に選定した。

議員の提案は、社員寮跡地の利活用構想を更に充実させるものであるため、今後、関係企業と連携しながら効果的な事業手法を精査していく中で検討を進めていく。

高齢化が進行する大規模住宅団地の再生に向けては、インフラ整備だけではなく、コミュニティを維持継続していくために、若者世代の定住促進を図ることなどにより、幅広い世代が団地に居住することが重要であることから、引き続き団地住民や民間事業者の意向を踏まえ、より効果的な施策の推進を図っていく。

全質問項目

[1] 所信表明について

①若い世代の転出抑制や定住促進策について

[2] ひたちらしさを活かしたまちづくり

①地域共創をどのように進めていくのか
②「関係人口」の拡大による、第2期日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

[3] 映画「ある町の高い煙突」で日立市の魅力を全国に発信

[4] 希望ある「幸齢社会」の実現

- ①認知症対策について
- ②介護サービスの充実について
- ③がんや生活習慣病への対策について
- ④高齢ドライバーの事故対策や免許返納後の支援策について
- ⑤高齢者が移動しやすい公共交通の整備について

[5] 産業振興による雇用の場の確保について

[6] 都市力の向上について

[7] 東日本大震災から8年が経過して

会派代表質問
公明党

館野 清道 (代表)
添田 絹代 三代 勝也
下山田 幹子 篠田 砂江子

質問は、館野清道議員が行いました。

「ひたちらしさ」を活かしたまちづくり

議員 本市では人口減少対策が喫緊の課題であるが、今後どのようにまちづくりを進めていくのか。また、地域共創の観点から、市民から様々な意見を伺う機会を設ける必要があると考えるが、見解を伺いたい。

市長 本市には、豊かな自然や温暖な気候のほか、昨年「はちゅウるい館」がオープンしたかみね動物園や、ユネスコ無形文化遺産に登録されている日立風流物などの文化があり、こうした本市ならではの「ひたちらしさ」を活用し、シティブロモーションによる魅力発信を積極的に行うことで交流人口の拡大につなげたいと考えている。

市民との意見交換については、全てのコミュニティ単会との懇談会を開催したほか、市民アンケートを実施するなど、積極的に意見を伺う機会を設けてきた。今後も様々な機会や媒体を活用して市の施策などを市民に分かりやすく伝えるための取組を進めるとともに、市政懇談会を始め、広く市民の意見を伺う機会の充実を図っていく。

映画「ある町の高い煙突」による本市の魅力発信

議員 映画「ある町の高い煙突」に描かれている本市の歴史を市内外に広く紹介することによって、多く

の方に本市を訪れていただけると考えるが、見解を伺いたい。

市長 今回の映画化を機に、改めて郷土の歴史や偉人を多くの方々に理解していただくため、日立市ガイドブック、市報の特集記事、さらにはシティブロモーション専用ホームページの中で紹介した。また、平成30年度には市内の中学2年生を対象に読書感想文コンクールを実施するなど、本市独自の歴史、他に誇れる「ひたちらしさ」として市内外に広めるための取組を進めてきた。

今後は、映画ゆかりの地を巡るモデルコースや本市発展に貢献された偉人、市の花さくら、大煙突の説明板を設置した煙突が見えるスポットなどを紹介するパンフレットを作成するとともに、SNSなどでもきめ



© Kムーブ

全国約80館で公開された「ある町の高い煙突」(写真は撮影の様子)

細かに本市ならではの物語を全国に発信し、多くの方に本市を訪れていただき、交流人口の拡大やまちの活性化につなげていきたいと考えている。

企業・大学・行政の連携による産業振興に向けた取組

議員 人口減少対策への取組として、地元の学生が、卒業後も本市で就職できるような雇用環境を整える必要があると考えるが、産学官の連携と産業振興に向けた取組について、見解を伺いたい。

副市長 本市では、昨年度に策定した第2次日立市商工振興計画において、「多様な主体による連携」を基本戦略として掲げて改めて産学官連携を促し、市内中小企業と茨城大学や日立地区産業支援センターなどによる新製品や新技術の開発による市場創出への支援を打ち出したところである。

大企業と中小企業との連携による既存の加工技術への応用や製品部品の試作、新しい用途の開発などについては、市も積極的に関わりながら進めたいと考えており、こうした取組に地域を挙げて挑戦し続けることが、「新時代の産業都市」につながるものと思っている。併せて、市内の大学との連携により、学生に対する市内中小企業のPR活動を更に強化するなど、地元への定着を促す取組も進めていく。

全質問項目

- [1] 小川春樹市長の新たな4年間に向けた決意について
- [2] 今後の教育行政について
①質の高い教育環境をどのように保っていくのか
②いじめ防止、児童虐待防止対策について
- [3] 水道事業の安定的経営の継続について
- [4] 企業誘致の課題と今後の展開について

- [5] 産業としての「観光」について
①フィルムコミッションについて
②海水浴場のにぎわい創出について
③一次産業を意識的に活用することについて
- [6] 高齢者ひきこもり対策について
- [7] 地域周産期母子医療センター再開のメドについて

会派代表質問
ひたち未来

永山 堯康（代表）
白土 仙三郎 伊藤 智毅
石井 仁志

質問は、永山堯康議員が行いました。

新たな4年間に向けた
市長の決意

議員 市長が所信表明で掲げた6つの項目に象徴される今後の重点政策の目的と、それに取り組む決意を伺いたい。

市長 私は、今後4年間におけるまちづくりの基本姿勢として、「地方創生・人口減少対策」を始め、「安全・安心のまちづくり」など、6つの重点政策を位置付けたところである。

これから10年、20年先のまちの姿を見据え、これまでまちづくりの原動力となった市民、企業、コミュニティなどの皆様との連携をより一層深め、ものづくり、人づくり、地域づくりに磨きをかけていくことが私に託された使命であると考えている。

今後もし引き続き、若者や女性にスポットを当て、子育て支援の更なる充実や特色ある教育の推進を図るとともに、安全・安心の源となる地域医療体制の充実、さらには、本市産業を支える中小企業支援やまちの将来発展に欠かせないインフラの整備促進など、まちの総合力を高める施策を力強く推進していく。

本市が県北地域の中心都市として輝き続けられるよう、新たな4年間の市政運営に全力で取り組んでいく。

質の高い教育環境の維持

議員 本市の質の高い教育環境を

保っていくために、教員が本来の目的に集中できる環境づくりと、働く環境の改善にどのように取り組むのか、見解を伺いたい。

教育長 本市では、これまでも独自に学校事務員、図書事務員、そして少人数指導教員や理科学習支援講師などを配置するとともに、業務の効率化を図る校務支援システムを導入するなど、教員の負担軽減に向けた様々な施策を講じてきた。

さらに、今年度からは、スクールロイヤルの導入により、複雑化する問題について法律相談ができる体制を整えるほか、部活動指導員の配置など、他市に先駆けた取組を進めているところである。



先生の工夫を凝らした授業が子どもの理解を深める

今後も、学校のニーズをくみ取り、タブレットなどのICT機器の充実を始め、教員が指導に集中できる環境を整えることで、子どもたちにとって向き合うことのできる質の高い教育を推進していく。

水道事業の安定的経営の継続

議員 水道事業の継続のためには、安定的な水源の確保とともに、経営面の強化という両面からのアプローチが必要であると考ええる。民営化の手法であるコンセッション方式の導入も含めた所見を伺いたい。

公営企業管理者 安定水源の確保については、令和10年度に着手予定の森山浄水場再整備に伴う余剰地を活用した原水貯水池の増設を計画しているが、今後、スケジューリングも含め、幅広く検討する必要があると考えている。

今後は、料金の見直しを含め、経営戦略に定めた取組を着実に進めるとともに、職員一人一人の意識改革や知識・技術の向上を図り、将来にわたって適正かつ効率的な事業経営に努めていきたい。

コンセッション方式の導入については、リスクの分担等で判断としない部分が多いことや、事業体内部の技術やノウハウの継承に対する懸念、安全・安心に対する市民の不安の払拭が難しいことなどから、慎重に検討すべきものと考えている。

一般質問

一般質問とは、議案に関係なく市政全般について、市長など執行部の考え、方針などを聞くことです。6月定例会では、10人の議員が6月18日・19日に一般質問を行いました。その質問と答弁を要約して、一部を掲載しています。なお、掲載は抽選により決定した発言順としています。

日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できるようになっており、議会日よりでは、3人未満の場合は、無会派と表示しています。

添田 絹代 議員

(公明党)

太陽光発電施設廃止後の太陽光パネルの処分

議員 国の調査では、使用済太陽光パネルについて、感電防止策を取らずに放置したり、有害物質の有無を確認しないで埋め立てる事例があることが分かっている。本市における使用済太陽光パネルの処分について伺いたい。

生活環境部長 現在市内には571ヶ所の太陽光発電施設がある。現行の固定価格買取制度では、使用済太陽光パネルの処分は事業者が行うことを原則とし、電気の買取価格に処



太陽光パネルの耐用年数は20～30年とされている

分費用を含めた上で、事業者に対して積立てを行うことを求めている。しかし、積立てを行っていない事業者が8割を超えていることから、国は「太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン」を作成し、廃棄量の削減と処分費用の軽減を図る取組を始めている。市としては、国の動向を注視するとともに、事業者に対して、国、県、市のガイドラインなどを踏まえた適正な対応処分を行うように、継続的な指導をしていきたい。

小林 真美子 議員

(無会派)

国民健康保険料 子どもの均等割の軽減

議員

子どもの数が多いほど保険

料が引き上がる均等割は、0歳児にもかかることから子育て支援に逆行しているとの声がある。その軽減については全国的にも機運が高まっているが、子どもの均等割の軽減について、見解を伺いたい。

保健福祉部長 本年6月の国民健康保険料本算定において、加入者3万4181人のうち、18歳以下の子どもは2703人で、さらにそのうち小学生以下は1560人であった。

平成30年度の国民健康保険制度改革により、県は市町村と共同で制度を運営していくことになり、保険料率の統一、赤字補填の解消、事務の標準化などを目指す中で、本市が単独で保険料の軽減を行うことは難しい状況にあると考えている。

また、子どもの均等割保険料の軽減は、子どものいない世帯の保険料を増額することにつながることから、引き続き国の財政支援について、全国知事会や全国市長会などと連携して要望するとともに、今後も国の動向を注視していきたい。

千葉 達夫 議員

(無会派)

生活に密着した道路の整備方針

議員 生活道路の整備について、

市が用地を取得してから整備に時間がかかっている路線があり、早期の整備を希望している。整備が完了していない路線について、今後の整備

方針について伺いたい。

都市建設部長

生活道路の整備は、基本的に地域住民からの要望により現道の拡幅を進めるもので、沿線の方の貴重な用地の一部を市が取得させていただき、用地買収後に道路整備を行っている。これにより、通行できなかった緊急車両が通行可能となるほか、雨水の排水処理や平坦な路面への改善ができるなど、地域住民の生活に密着した事業となっている。しかしながら、救急車や消防車等の緊急車両の進入が必要な家屋が連担している区間を優先して整備していることから、農地や山林などの区間については、用地取得後も整備に時間を要している。

用地を買収済みであるが、整備が完了していない路線は5路線ある。他の生活道路の整備についても多くの要望があるため、地域住民との調整をしながら、できるだけ早期の整備に努めていく。

瀬谷 幸伸 議員

(日立市政クラブ)

日立市の未来を変える かみね公園活性化基本構想

議員 かみね公園においては、確

実な集客力の向上を戦略的に狙うことが最重要課題であると考える。本基本構想の策定に至った経緯と基本的な考え方、策定作業のロードマップについて伺いたい。

市長公室長 平成17年に策定した「かみね公園活性化推進計画」から10年以上が経過し、社会状況も大きく変化していることから、かみね公園全体の更なるにぎわいづくりや活性化に向けた基本構想を策定することとなった。

基本的な考え方としては、市民の貴重な財産であるかみね公園を更に充実させて将来に引き継ぐため、県内を代表する観光交流拠点となることを目指し、様々な可能性を想定して公園全体の将来像や必要な方策などについて検討していく。

策定作業として、公園の現状把握や先駆的な取組事例の調査、各分野



パンダの誘致に併せてかみね公園全体の魅力向上が期待される

の有識者や市民、関係団体などで構成する懇談会の設置、来園者に対するヒアリングや関係団体との意見交換などを進めながら、今年度末を目的に基本構想の策定を進めていく。

篠田 砂江子 議員

(公明党)

小中学校の普通教室へのエアコン設置状況と使用基準

議員 本年6月までに普通教室へのエアコン設置が完了すると聞いているが、進捗状況について伺いたい。また、子どもたちの命を守るためにも使用基準を明確にする必要があると考えるが、時間帯や気象条件などで基準を設ける考えはあるのか、見解を伺いたい。

教育部長 小中学校31校478教室へのエアコン取付けは、6月16日に完了した。現在、教室の冷え方の確認を行い、座席配置への配慮など、本格運用に向けて調整をしているところである。

使用基準については、暑さ指数測定器(湿度、日差し、気温等)の測定値を基に、警戒レベルの暑さ指数25以上を使用の目安と考えている。

しかし、教室内での活動内容によっては、基準を下回っていても、児童生徒の健康と安全に配慮した臨機応変な運用をしていく。また、既に設置してある扇風機の併用など、効果的・効率的な運用を行っていく。



今年の夏は快適な環境で授業が受けられます

石井 仁志 議員

(ひたち未来)

不登校傾向(グレイゾーン)にある生徒への支援

議員 主に中学校において、不登校傾向にある生徒への支援は早期に行うことが大切であるが、支援や指導方法について伺いたい。

教育部長 不登校の兆候が見られた生徒に対しては、教員や教育相談員などが本人や保護者と面談し、その要因を見極め、校内会議で支援の方向性を明らかにした上で、組織的な対応を行っている。

また、保健室登校については、生徒が養護教諭に気軽に話や相談ができる心のより所になっていることから、学級への復帰を目指し、担任教

諭と養護教諭が連携を図りながら支援に当たっている。

さらに、小学校も含めて、発達障害などの特別な支援が必要な児童生徒については、保護者にこども発達相談センターなどを紹介しているほか、家庭への支援が必要な場合には、児童相談所など関係機関との連携を図りながら個別に対応している。

今後、子どもたち一人一人に寄り添ったきめ細かい対応を図り、学校生活の楽しさを実感することができるよう支援を行っていく。

粕谷 圭 議員

(民主クラブ)

高齢者が気軽に楽しく通える居場所づくり

議員 高齢者の居場所におけるサービスには、気軽に通えるカフェや学びの場の提供と、生活支援が有効である。また、市内に居場所を増やすには、地域の協力や民間活力をいかした新たな方法が必要であると考えているが、見解を伺いたい。

保健福祉部長 高齢者の居場所において、各々が培ってきた知識や経験をいかした相互の学びの場を創出することは、新たないきがづくりや、健康保持、介護予防につながるものと考えている。

また、高齢者は外出の手段や機会が減少するため、地元産品の販売などのサービスを利用できる場を提供

することは、ますます必要になると認識しており、これまでの居場所づくり事業においても食や健康に関する講座を開催し、生活に必要な日用品やサービスの提供を行っている。

今後は、関係機関と連携しながら取組を更に充実させ、生涯学習や生活支援サービスにノウハウのある民間団体による居場所づくりに対して支援できるような新たな事業展開を検討していく。



昨年11月にオープンした「元気カフェあゆかわ」(女性センター1階)

小中学生の登下校時の負担軽減に向けて早急な対応を

議員 昨年9月の一般質問において、「急ぎ検討し軽減を図る」との回

今野 幸樹 議員 (日立市政クラブ)

答があったが、未だに荷物の軽減が図られていない。児童生徒の負担軽減を図り、安全を確保するため早急な対応が必要であることから、対応について改めて伺いたい。

教育部長 平成30年9月の文部科学省からの通知を受け、本市においても、各学校に対して重量のある辞書や副読本を持ち帰らないなど、必要に応じて適切な配慮を講じるように促した。また、学校では、教科書等がなくても家庭学習ができるようにプリントを活用するなどの取組を検討してきた。しかし、学校に置いていくことで、紛失の心配や家庭学習への影響など考慮すべき課題は多く、十分な効果は得られていないという実情がある。

今年度、助川小学校で、家庭学習で使用しない教科書などを原則として持ち帰らない取組を試験的に始めている。この取組を通して、課題や工夫できる点について整理しながら各校と情報を共有し、暑さが厳しくなる前に改善策が実施できるように、早急に取り組んでいく。

三代 勝也 議員 (公明党)

旧耐震基準で建設された支所の現状

議員 日立市公共施設マネジメント基本方針分野別編の中で、「支所6施設中、南部・日高・豊浦・西部の

4施設は、旧耐震基準で建築されており、耐震診断が未実施である」とされているが、その後耐震診断はなされているのか、現状について伺いたい。

総務部長 4つの支所及び南部支所併設の多目的室は、いずれも耐震診断が未実施となっている。

各支所の現状として、日高支所は平成16年度、西部支所は平成18年度に外壁及び屋上防水改修工事を実施し、長寿命化を図っている。また、南部支所及び多目的室、豊浦支所は平成29年度に建物の躯体コンクリート及び外壁塗膜の劣化状況を把握するための調査を実施したところ、最も健全度が高い結果が出ている。

しかしながら、支所については多くの市民が利用することから、今後、



昭和41年に建設された南部支所

耐震対応を含めた必要となる工事等については適時に実施し、市民の安全・安心の確保を図っていく。

伊藤 智毅 議員

(ひたち未来)

原子力安全対策懇談会の公開性

議員 本年6月4日に第一回の会議が開催された原子力安全対策懇談会は、委員氏名を公表せず、会議も非公開である。懇談会の分野別構成メンバーと目的について伺いたい。また、今後の会議のテーマや公開性などについて伺いたい。

総務部長 原子力安全対策懇談会は22名の委員で構成しており、原子炉や放射線に関する学識経験者5名のほか、商工、農林水産業など産業界の関係者8名、コミュニティや女性団体などの市民9名となっている。委員の方には、会議の場で忌憚のない発言と議論の場を確保するとともに、周囲からの過度な負担を受けることがない環境の確保が必要であることから、氏名及び会議を非公表とし、会議録は発言者を特定できない形での公表を考えている。

今後の運営については、委員の要望を踏まえながら、東海第二発電所の安全対策に関する日本原電による説明や、広域避難計画に関する市からの説明など、2、3ヶ月に1回程度開催し、意見を頂いていきたいと考えている。

傍聴者の声

市議会定例会を 傍聴して



かみあい町
大原 雅春

この度、初めて日立市議会定例会の一般質問を傍聴させていただきました。新庁舎の議場は綺麗で、両サイドにモニターがあり、洗練された様子でした。

その中で行われた一般質問では、とても分かりやすい内容で話されており、市民の代表である議員の方々が、住みよいまちづくりのために市民の声を聴き、その声を行政に届けている姿に大変感動いたしました。そして、その声に対して執行部の方が改善につながるように深く考えて、答弁されていることが伝わってきました。

一般質問では、日立市がどのような課題を抱えているのか、また、議員がどのような考えで活動しているのかが見えるので、もっと多くの市民に傍聴してもらえると良いと思います。

今後も機会をつくり、知人を誘って議会を傍聴したいと思います。

議会を傍聴しませんか

議場には、傍聴席が65席（うち親子席3席、車椅子席2席）あります。

会議はどなたでも傍聴することができますので、ぜひお越しください。詳細については、議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎0294-22-3111（内線371、372）
IP電話 050-5528-5113（直通）

傍聴の際は次の事項をお守りください

- 携帯電話・スマートフォン等の電源はお切りください。
- 傍聴席では静粛にしてください。
- 傍聴席での飲食はできません。
- 議場で写真等を撮影する場合は許可が必要です。

次回 9月定例会の予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|------------|---------------------|-------------------------|-----------------------|-----------------------------|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 本会議 (開会、提案説明) | 6 請願等の締切 (17:15まで) | 7 |
| 8 | 9 | 10 本会議 (一般質問) | 11 本会議 (一般質問) | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 敬老の日 | 17 本会議 (議案質疑) | 18 常任委員会 | 19 常任委員会 | 20 幹線道路 整備促進 特別委員会 | 21 |
| 22 | 23 秋分の日 | 24 | 25 本会議 (委員長報告、閉会) | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

※会議は、原則として午前10時開会となります。

議会日誌 (4月~6月)

4月

4日：議会報編集委員会

5月

15日：第1回市議会臨時会開会
17日：本会議(議長選挙、副議長選挙、各委員会委員の選任及び正副委員長互選の報告、議案説明、表決)
20日：第1回市議会臨時会閉会(議案説明、議案質疑、委員会付託、各委員長報告、討論、表決)
総務産業委員会、教育福祉委員会、議会運営委員会
24日：県北市議会議長会
27日：茨城県市議会議長会
29日：関東市議会議長会
29日：総務産業委員会、教育福祉委員会、環境建設委員会
31日：議会報編集委員会

6月

5日：議会運営委員会
10日：議会運営委員会
12日：第2回市議会定例会開会(所信表明、議案説明)
13日：議会運営委員会
17日：本会議(議案説明、会派代表質問)
18日：本会議(一般質問)、議会運営委員会
19日：本会議(一般質問)
20日：本会議(議案質疑、委員会付託)
議会報編集委員会
21日：総務産業委員会、教育福祉委員会、環境建設委員会
25日：幹線道路整備促進特別委員会
26日：議会運営委員会
27日：第2回市議会定例会閉会(各委員長報告、表決)